



やぐもだい

令和 7 年 8 月 29 日
調布市立八雲台小学校
校長 石川 淳
<http://www.chofu-schools.jp/yagumodai-sho/>

スマート社会だからこそ

校長 石川 淳

夏休み期間が終わろうとしています。大きな事故やけがの連絡もなく、ホッとしています。

夏休み中には、カムチャツカ半島付近を震源とする大きな地震が起き、それに伴う津波警報が太平洋沿岸に出されました。同時に、今回も災害時に人々の不安を煽るように流言やデマが SNS で広まり、問題になりました。

社会心理学の研究では、流言やデマが作られ広がりやすい条件が3つあるとされていて、その3つは足し算ではなく掛け算で増大していくそうです。①重要な事柄（個人的に放っておけないと感じた話題は周囲の人に話したくなる。）②曖昧な内容（混乱状態の中で何が起きているのか分からない間は、聞き及んだものがあり得るような気になる。）③不安な時（自分の気持ちに合っている情報を選んで集めてしまう。）人は不安な時、不安であることを表現したくなります。怖いなら怖い、哀しいなら哀しいと表した方が、その人の不安は和らぐからです。3つの条件がそろった状況下で、個人的な見立てを加えてストーリーを仕立てはじめたとき、受け手が同じように不安に思っていると“確かな情報”と感じてしまうのです。時に無責任な見当が付けられてどんどん大きな話になったり、現実味があるように見えたりしていきます。SNS が普及した現在では「即時、広範囲、言葉が視覚的」という特性が、負の面で生きてしまいます。

流言やデマに踊らされないようにするにはどうすればいいのでしょうか。何年も前から「外科医けいゆう」のペンネームで SNS で発信を続けてきた医師の山本健人さんは、NHK の番組で「目の前にいくつかの選択肢がある中で、どれを選ぶかとなったときに「科学的根拠があるものが安全」という発想をすることが絶対に必要」と話していました。その上でデマ？フェイク？な情報を見極めるキーとして【だ・し・い・り・た・ま・ご】の7つを挙げていました。

だ — 誰が言っている？

し — 出典はある？

い — いつ発信された？

り — リプライ（返信）欄にはどんな意見が？（SNS の場合）

た — たたき（誰かへの攻撃）が目的ではない？

ま — まずは一旦保留しよう

ご — 公的情報を確認した？

子供は身近な大人から大きな影響を受けます。私たちは子供たちの身近な存在であればこそ、陥りやすい場面を知って、回避する術を併せ持ち、適切に判断する大人でいたいものです。

【早朝見守り事業「みまモーニング」の試行実施】

すぐーるでお知らせした通り、9月1日より「みまモーニング」が始まります。

日時：学校登校時間前の平日7時30分から8時15分まで

場所：図書室 対象：全学年の児童（保護者が希望する家庭の児童）

内容：読書やタブレット、友達との会話を楽しむなど、教室と同じように過ごします。

（けが・事故防止のため、遊具を使用した遊びは不可）

費用：無料

詳細は市ホームページ（<https://www.city.chofu.lg.jp/100010/p054278.html>）をご覧ください。

お問い合わせ先：調布市教育委員会 教育総務課（042-481-7144）